めぐみの森だより　2026 年 5 月号

社会福祉法人　雲柱社　めぐみの森保育園　　☎ 03-3480-4448

「愛されていることを知る」を実感…

新年度が始まり、あっという間に 1 カ月が過ぎました。皆様にきちんとご挨拶できず日々が過ぎていき大変失礼いたしました。この場をお借りしてご挨拶させていただきます。

改めまして、皆様初めまして 4 月より同法人いずみの園保育園より異動してまいりました小島則子と申します。以前、虹のひかり保育園でも働いていて約 10 年ぶりの狛江の地。何より驚いたのは駅前にスタバが‼駅前の変わり様に驚きました。

異動は何度も経験してきましたが、毎回ドキドキ緊張です。まずは新しい環境に慣れ、職員・園児の顔と名前を一致させる。まだまだ、一致できずで…保護者の方々も正直あやふやで本当に申し訳ありません。各クラスに入らせてもらったり、庭遊びに仲間入りさせてもらったりしては、事務所に戻り今度は名簿とにらめっこし確認しています。何度繰り返しても？？？の日々。職員との会話から兄弟関係が繋がりと脳みそフル回転です。何よりもどかしかったのは、保育園の 4 月が忙しいことが分かりつつも役に立たない自分、事務作業もフォルダー探しから始まり、何事にも時間が掛かりそんな自分にイライラもしていました。

そんなある日、職員礼拝に参加しました。毎年テーマを掲げ、今年度は「職員ひとりが神に愛されていることを知る…」です。「愛する」ってなんだか照れ臭いことばですよね。牧師先生のお話によると、「まずは自分自身を愛すること、許すこと、そこから他者を愛せるようになり、許せるようになる」とのことでした。この言葉に私ははっとさせられました。今の自分の姿と重なったのです。ことがうまくいかずじたばたとし、頭を悩ませてばかりいましたが、まだ始まったばかり、「仕方がない」今の自分を受け入れ許そうと。まずは自分ができることをやって、ちょっとでも子どもたちと笑顔を交わすことができれば幸せ。今日は、新しい仕事を覚えられた、保護者からの電話が取れたなど、ささやかだけどできた自分を褒め、分かったことが楽しいと思考を変えるきっかけとなりました。よくよく考えると、そんな思いを抱いていることを周りの先生たちは気が付いてくれ、声を掛けてくれ、一緒に笑ってくれていたのです。誰かと比較されることもなく、今の自分をきちんと認めてくれていたことに気が付き感謝の想いでいっぱいになりました。

新入・進級園児の子どもたちもきっと同じように不安で一杯の 4 月だったことでしょう。訳が分からず、泣きたくなることもあったでしょう。でもそれは当たり前の姿なのです。きちんとその姿を認め、一人一人に愛を伝えていくことが私たち保育者の役割なのです。その思いが伝わった時、自然と笑顔が溢れるのです！

めぐみの森保育園に集った方々みんなが愛を感じ、周りの人にも愛を与えられるように、目標に一歩一歩進んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします

記：主任　小島　則子

≪今月のおすすめ≫

西友・◎みなさまのお墨付き　瀬戸内レモン＆ルイボスティー

お味はもちろんのこと、香りにも癒されますよ♪

西友 - 瀬戸内産レモン＆ルイボスティー 2g×8 袋 | SEIYU

① 保育士をしていなかった何の職業についていた？→きっとなれていないと思うけど、薬剤師

② 好きなキャラクターは？→スヌーピー

③ 今まで食べた中で一番おいしかったものは？→渋谷の並木橋にあった「長崎」の、ちゃんぽん